

全業種総合

回答企業数291企業（回答率100.00%）

概況

～総合的業況判断DI値 前期比やや改善～

総合的業況判断DI値は、前期比6.2ポイント上昇の▲7.9とやや改善となった。

業種別での業況判断DI値は、運輸業が80.0ポイント上昇の30.0、卸売業が48.3ポイント上昇の0.0、飲食業が15.8ポイント上昇の▲36.8、サービス業が7.2ポイント上昇の0.0、製造業が6.1ポイント上昇の▲9.1の結果となった。

一方で、小売業が3.3ポイント低下の▲19.8、建設業が10.4ポイント低下の8.6、不動産業が33.3ポイント低下の▲33.3となり、上昇が5業種、低下が3業種の結果となった。

～経営上の問題点～

業種全体で「売上の低迷・減少」102先、「人員不足」89先、「材料価格の上昇」87先、「利幅の縮小」77先、「経費の増加」58先と上位を占めた。

前回調査比、「売上の低迷・減少」が17先減少、「人員不足」は10先増加、「材料価格の上昇」は7先の増加、「利幅の縮小」は6先減少となった。他に、「その他(新型コロナウイルス感染症の影響)」は4先減少の11先となった。

設備投資計画では、「予定あり」とした企業が40先、前期比6先減少、設備投資実施予定割合は13.7%と前期比2.1%減少した。業種別では、運輸業(土地・建物・機械・その他)70.0%、不動産業(土地・建物)33.3%、製造業(土地・建物・機械・その他)24.2%、サービス業(建物・機械・その他)14.3%の先が「予定あり」としており、小売業・建設業・飲食業・卸売業は10%未満に留まった。

資金繰りDI値は、前回調査比3.8%上昇の▲8.6とやや改善傾向にあり、今期借入した企業は24.7%と前回調査時(23.4%)より1.3%増加となった。

来期の見通し

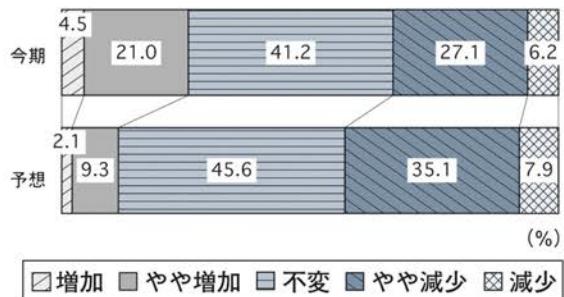
～総合的業況判断DI値 悪化を予想～

各業種の見通し業況判断DI値は、今回調査比23.7ポイント低下の▲31.6と悪化の予想となった。

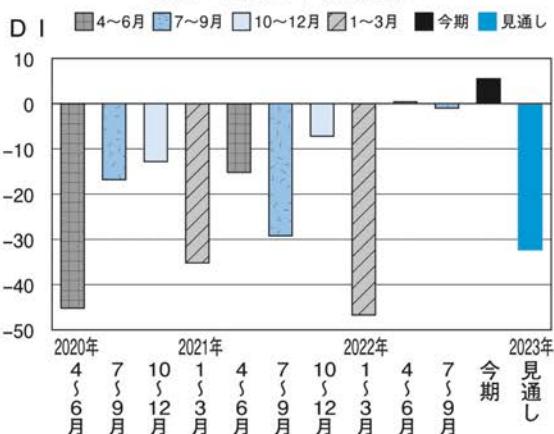
業種別では、飲食業が10.5ポイント上昇の▲26.3、製造業が3.0ポイント低下の▲12.1、小売業が18.7ポイント低下の▲38.5、不動産業が22.3ポイント低下の▲55.6、建設業が31.0ポイント低下の▲22.4、サービス業が35.7ポイント低下の▲35.7、運輸業が40.0ポイント低下の▲10.0、卸売業が48.3ポイント低下の▲48.3と、来期の見通しは上昇が1業種、低下が7業種となった。

今期資金手当した先が24.7%であったが、今後資金手当て等借入を予定している先は19.6%となっている。

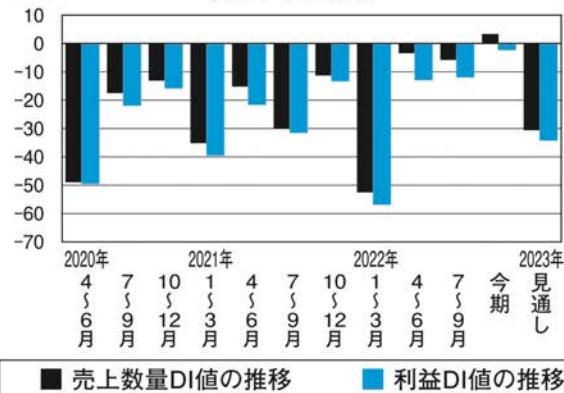
業況判断（全業種）



売上・受注DI値の推移



各DI値の推移



設備投資計画の有無

